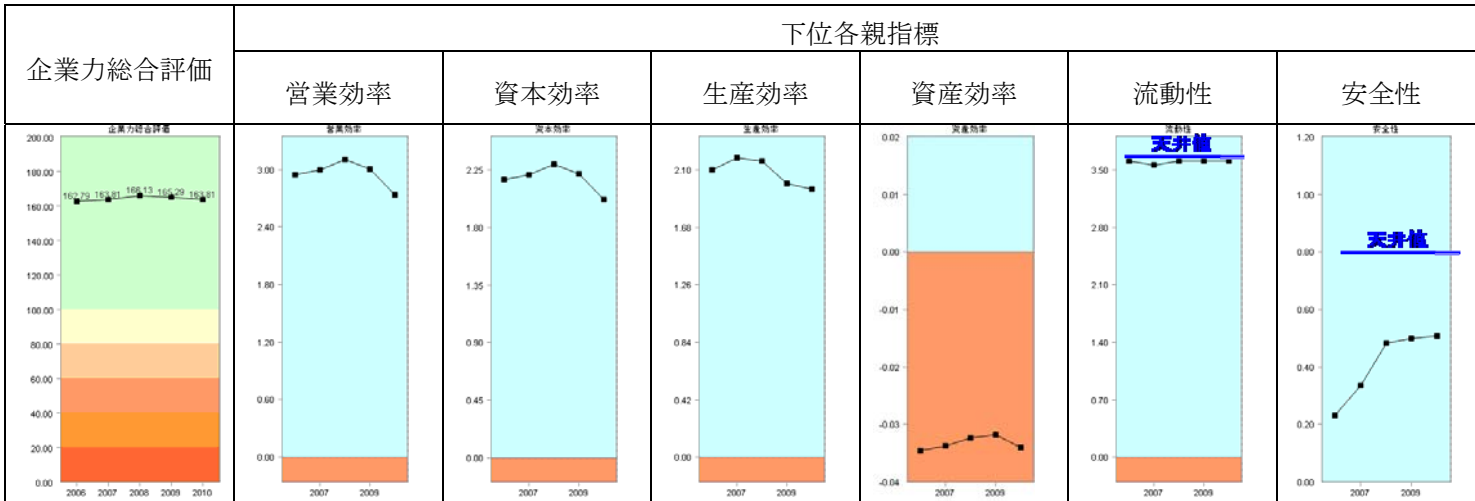


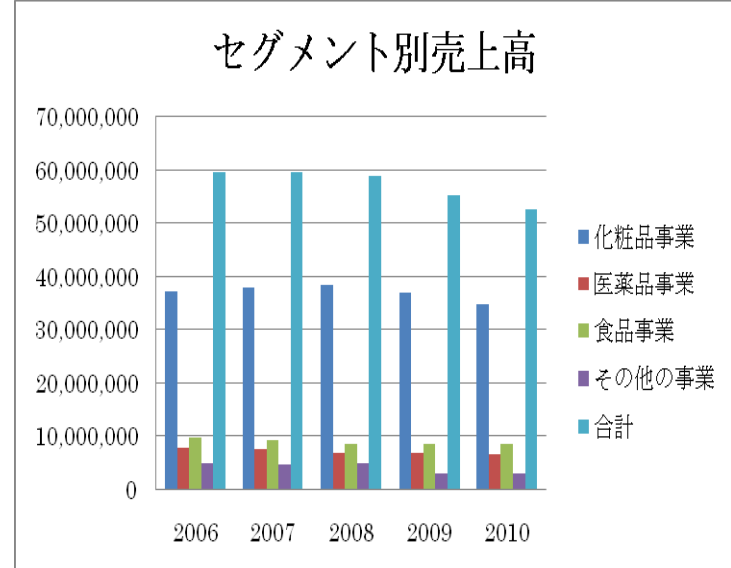
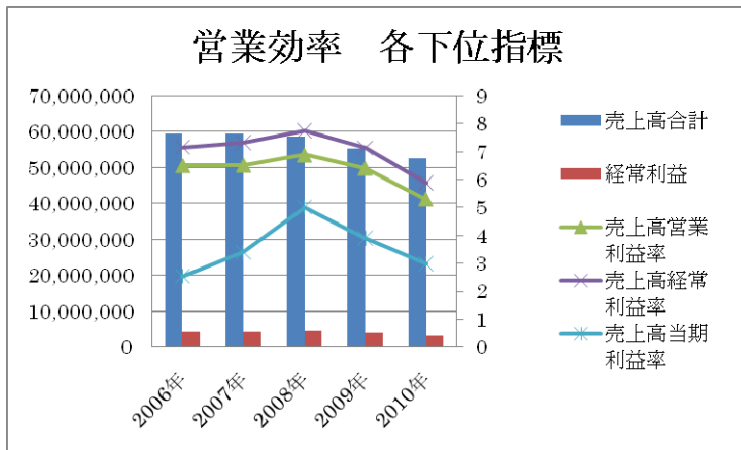
今回は、ノエビア株式会社を取り上げました。ノエビア(株)は、1964 年会長の 大倉 昊氏が貿易業を創業されたことに始まります。1978 年ノエビア化粧品の製造・販売を開始し、今では、食品事業、医療品事業、ボディファッションやアパレル、航空関連事業をされています。事業選択で「勝ち馬に乗ることに長けた会社かも」が私の最初の印象です。それでは分析を見てみましょう。



企業力総合評価は 162.79→163.81→166.13→165.29→163.81 と 160 ポイント台を安定しています。下位親指標を見ると、安全性(長期資金繰り指標)が改善しており、営業効率(儲けの指標)、資本効率(資本の利用度指標)、生産効率(人の利用度)の下落を相殺しています。2008 年の安全性の急改善は 60 億円の増資(払込資本は 75%増加)によるものです。リーマン・ショック前に増資し、借入金を減少させているところなど、福の神様でもついているのでしょうか。資産効率(資産の利用度)はドブプリと赤信号領域、流動性(短期資金繰り指標)は天井値と定位置です。営業効率の各下位指標を見てみましょう。

	2006年9月	2007年9月	2008年9月	2009年9月	2010年9月
売上高合計	59,344,810	59,351,712	58,668,917	55,227,102	52,580,449
売上総利益	38,358,750	38,609,699	37,969,365	36,142,632	33,366,878
売上高総利益率	64.64	65.05	64.72	65.44	63.46
営業利益	3,858,493	3,868,695	4,042,873	3,538,931	2,782,461
売上高営業利益率	6.50	6.52	6.89	6.41	5.29
経常利益	4,249,323	4,344,563	4,543,274	3,938,412	3,087,290
売上高経常利益率	7.16	7.32	7.74	7.13	5.87
当期利益	1,507,427	2,017,834	2,937,116	2,151,842	1,565,168
売上高当期利益率	2.54	3.40	5.01	3.90	2.98

売上高は 4 年間で 11.4%、67 億 6436 万円減少しています。女性の化粧品にけるお金が 30%ほど減ったとテレビのニュースでやっていた。デフレ、価格競争、リーマン・ショックと外部環境が厳しい中、全社の営業利益率の下落は 1.21%で踏みとどまっています。



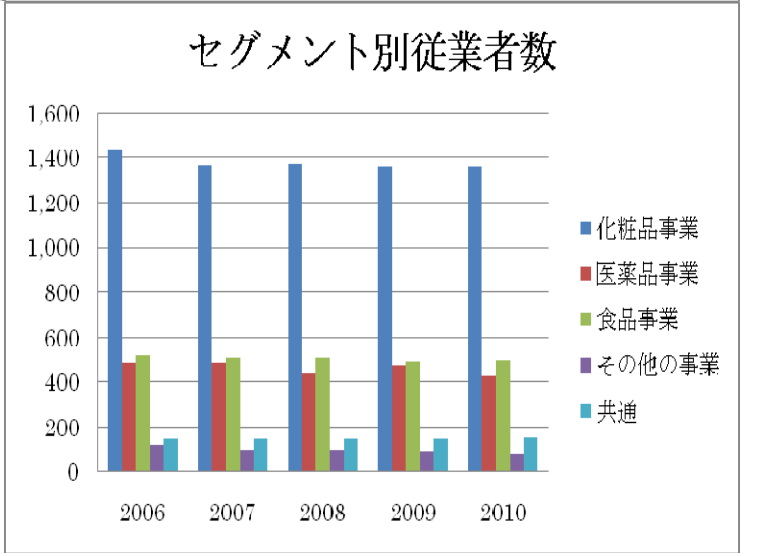
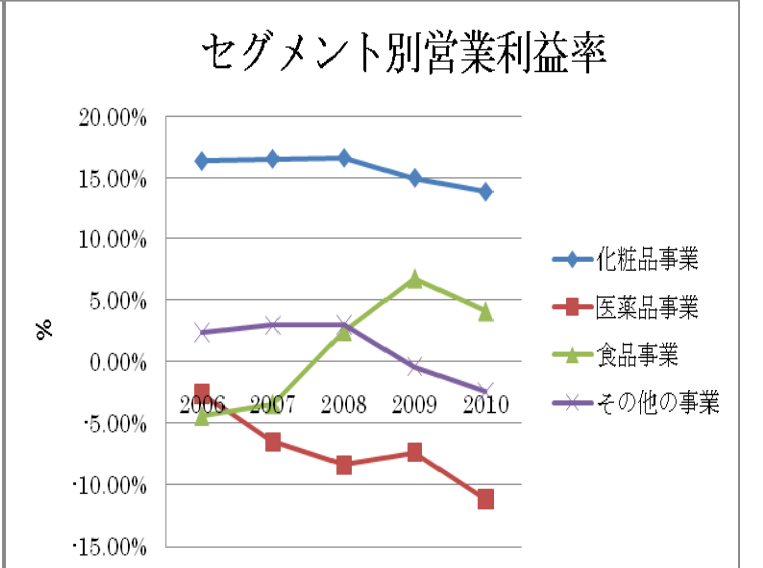
セグメント別の売上高、営業利益率、従業員数のグラフを見てください。ノエビア(株)の主力セグメントは化粧品事業であり、営業利益率も高く、従業員数もダントツ多いですね。

食品事業は 2010 年営業利益率が悪化しましたが、改善トレンドになってきました。ノエビア(株)の 2 本目の柱となるでしょう。利益率改善のテコ入れをしてくるでしょう。

それに対し、医薬品事業は苦戦しています。営業損失を 4 期連続出しています。食品事業と同じくらいの従業員数です。医薬品事業は、常盤薬品工業(株)他 3 社で行っていますが、内 2 社は持分法非適用関連会社ですので、上記数字には反映されていません。財務体質が良いノエビア(株)のこと、M&Aの買いか売りをする可能性があります。つまり、医薬品事業を売却するか、他社の医薬品事業を購入することによって、業績回復を図る可能性があります。

まとめ

財務体質が良く、高い収益性のノエビア(株)はどんな手を打ってくるのでしょうか。ノエビア(株)の苦悩を示すようなNEWSになりましたが、今後の展開を注視したいと思います。



編集後記 SPRENDIN21 に関するお問合せは下記までお願いいたします。
〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号 税理士法人 諸井会計
tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 〆 info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp/>